

国立青少年教育振興機構

平成18年4月に国立オリンピック記念青少年総合センター、国立青年の家、国立少年自然の家が統合され発足しました。我が国の青少年教育のナショナルセンターとして、青少年を巡る様々な課題へ対応するため、青少年に対し教育的な観点から、より総合的・体系的な一貫性のある体験活動等の機会や場を提供するとともに、青少年教育指導者の養成及び資質向上、青少年教育に関する調査及び研究、関係機関・団体等との連携促進、青少年教育団体が行う活動に対する助成を行い、もって我が国の青少年教育の振興及び青少年の健全育成を図ることを目指しています。

公益財団法人 文字・活字文化推進機構

平成19年10月に「子どもの読書活動推進法」と「文字・活字文化振興法」を具体化するために発足しました。読書推進事業などの活動を通じて日本語を深く理解し、表現力や思考力、想像力を持った人づくりとともに、言語力豊かな国民生活と創造的な国の実現をめざしています。

〈問い合わせ〉

「伝えよう日本語の美しさ」係（岩手日報社広告事業局企画開発部）

〒020-8622 盛岡市内丸3-7
TEL:019-653-4111 FAX:019-626-1881
（※電話によるお問い合わせは平日9時30分から17時まで）
E-mail:nihongo@iwate-np.co.jp

伝えよう 日本語の美しさ

朗読とコンサートのつどい in 岩手

日本語が美しく表現された昔話、
童話の朗読、童謡・唱歌をとおして、
子どもたちの情緒や感性を育み、
東日本大震災からの復興に歩む人々に
ふるさとも感じていただきたいという願いをこめて…

日時

2015年 **3月15日** 開演 / 13:30~15:45
(13:00開場)

会場

盛岡市民文化ホール

盛岡市盛岡駅西通2-9-1 マリオス内

■主催 / 国立青少年教育振興機構 公益財団法人 文字・活字文化推進機構
■共催 / 岩手日報社
■後援 / 岩手県教育委員会、盛岡市教育委員会、岩手県社会福祉協議会、盛岡市社会福祉協議会、IBC岩手放送、テレビ岩手、めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、エフエム岩手、岩手ケーブルテレビジョン

Program

《 ごあいさつ 》

岩手日報社 代表取締役社長 あづまね ちまお
東根千万億

13:30 第1部

昔語り

おりだて かずお
折館一男

13:55 第2部

朗読

やまね もとよ
山根基世

《 休憩 》

14:45 第3部

童謡 コンサート

ゆき やすだ さちこ
由紀さおり・安田祥子

*プログラムは予告なく変更となる場合がございます。

Guest Profile

折館一男

Kazuo Oridate

一戸町一戸在住。地元の方言の保存に努め、一戸町教育委員会が発行した「いちのへ郷土ことば」の編集に携わる。2008年から地元のラジオ局「カシオペアFM」で毎週、「うわののじさまのむかし話」に出演。地域に伝わるさまざまな昔話を一戸弁で披露している。毎年、自選した話がCD化されるなど、人気番組として住民に親しまれている。同町を舞台にした映画の方言指導でも活躍している。



山根基世

Motoyo Yamane

山口県生まれ。早稲田大学卒。1971年NHK入局。NHKスペシャル、美術番組、旅番組などを担当。2005年女性初のアナウンス室長。2007年NHK退職後、LLP「ことばの杜」を設立し、アナウンサー仲間と「子どものことば」を育てる活動を行った。2013年からは、地域づくりと組み合わせ、子どもの言葉を育てる独自の活動を展開している。2000年放送文化基金賞受賞。著書に『感じる漢字』（自由国民社）、『こころの声を「聴く力」』（潮出版社）、翻訳絵本『このてはあなたのために』（評論社）など。



由紀さおり・安田祥子

Saori Yuki・Sachiko Yasuda

姉 安田祥子・妹 由紀さおりは子どもの頃ひばり児童合唱団に所属し、童謡歌手として活躍。その後、クラシック、ポップスへとそれぞれの道へ進み、1986年より姉妹での童謡コンサートをスタートさせる。美しい日本の歌をこどもたちに一曲でも多く手渡したいと、活動を続けている。

近年、安田祥子は、保育専門学校で特任講師を務める傍ら、ソロコンサート、講演活動で活躍。由紀さおりはPink Martiniとのアルバム「1969」が世界的ヒットとなる。昨年デビュー45周年をむかえ、秋元康プロデュースの全国ツアーは好評を博した。



(敬称略)